



# 神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2011-2012年度 R I 会長 カルヤン・パネルジー



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012年度 第2590地区ガバナー 上澤摩壽雄

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| ● 会長 加藤 仁昭     | ● 会長エレクト 飯田 泰之  |
| ● 副会長 伊東 英紀    | ● 副会長 山本 登      |
| ● 幹事 天野 公史     | ● 副幹事 西山 潔      |
| ● 会計 朝日 達夫     | ● 副会計 田口 健太郎    |
| ● S A A 山本 芳弘  | ● 副 S A A 吉田 隆男 |
| ● 副 S A A 横溝 亘 | ● クラブ会報 小山市 康   |

●クラブテーマ「感謝・継承・進化」●



**事務局** ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3  
TEL : 045-314-3900 FAX : 045-314-3555

**例会日** 毎週金曜日 0 : 30 ~ 1 : 30 PM (第5金曜日 6 : 00 PM)

**例会場** ホテルキャメロットジャパン **創立記念日** 昭和 51 年 5 月 29 日

**URL** <http://www.kanagawahigashi.com/>

**E-mail** [kerc@beach.ocn.ne.jp](mailto:kerc@beach.ocn.ne.jp)

2011-2012年度 第14号週報 No. 1713 2011年(平成23年) 10月14日 第1713回例会記録 10月21日発行

司 会 西山 潔 副幹事

誕生日祝 月山 勇 会員 (10月15日)

点 鐘 加藤 仁昭 会長

斉 唱 「我等の生業」



ロータリーの綱領 山崎 善也 職業分類・会員選考委員長 (第1例会のみ)

四つのテスト 植田 清司 職業奉仕委員長 (第1例会のみ)

ゲスト紹介 原田 保 (ゲストスピーカー)

本日〈10月21日〉のプログラム  
優良職場訪問、及び夜間例会

## 結婚記念日祝

小山 市康 会員 (10月14日)  
澁谷 高弘 会員 (10月15日)  
月山 勇 会員 (10月19日)



## 会長報告

加藤 仁昭 会長

・第45回仏教伝道文化賞授賞式出席の報告

## 幹事報告

天野 公史 幹事

・本日、例会終了後に10月度定例理事会を開催致します。

場所 3F ナイト

・次週10月21日(金)は、優良職場訪問、及び夜間例会となります。

職場訪問集合 キヤメロットジャパン前 11:45

夜間例会 場所 キヤメロットジャパン 点鐘18時

## 出席報告

佐藤 勝彦 出席副委員長

会員総数	56名	(41+15)名	
出席会員数	46名	(34+12)名	
出席率	86.79%		
ゲスト	1名	ビジター	0名
前回補正後	94.34%	前々回補正後	98.15%

## スマイルボックス

吉田 隆男 副SAA

月山 勇君 誕生、結婚祝い、Wにてありがとうございます。振り返りより先の方が短くなりました。余生を考えるのはヨセイ・・・と考えることとしました。

澁谷高弘君 結婚祝い、ありがとうございます。

小山市康君 結婚記念日のお祝い、ありがとうございます。お互い日々精進しています。

加藤仁昭君 ①区民まつりには皆様のご協力により大きな成果を上げることが出来ました。ありがとうございます。②本日の卓話、原田様、よろしくお願ひします。

石川正三君 先日の反町の募金活動、皆様ご苦勞様でした。参加した京都の学生さんたちから感謝の葉書が届きました。ご披露します。

青柳 紀君 区民まつりではご苦勞様でした。ドーナツの評判も良かったようですが、少量ですみません。嬉しくもあり、悲しくもあり？でした。

山本 登君 茂木さん、頑張ってますね。

河野明光君 茂木さんのタクトを振る姿が好きです。

天野公史君 ①山田正憲会員、先週はありがとうございました。②区民まつりで協賛して下さった会員、寄付を下された会員、そして当日参加して盛り上げて下さった方々、お疲れ様でした。

山田富雄君 先日の神奈川区民まつり参加の皆様、ご苦勞様でした。

江森国一君 本日6時より荔香尊にて第2、第3テーブル合同のテーブルミーティングです。ご参加の皆様、よろしくお願ひ致します。

西山 潔君 ①区民まつり参加の皆様、大変お疲れ様でした。②渡邊さん、山本芳弘さん、脇田さん、ライブにお付き合い頂き、ありがとうございます。

伊澤政宏君 先日、神奈川区民まつり参加の皆様、ご苦勞様でした。

川邊正男君 先日の区民まつりへ協賛品をご提供下さった方々始め、ご協力下さった会員ならびに家族の皆様、お疲れ様でした。ありがとうございました

植田清司君 ①先日の反町公園での募金活動、皆様お疲れ様でした。②来週21日(金)は職場訪問ということで、陸上自衛隊朝霞駐屯地を訪問致します。ホテルキャメロット前11時45分集合です。よろしくお願ひ致します。

長井 章君 反町公園に参加出来ず、申し訳ございませんでした。

須永久一君 原田さん、本日の卓話、よろしくお願ひ致します。

横溝 亘君 神奈川区民まつり出席の皆様、お疲れ様でした。

脇田いすゞさん さつき新潟から帰って来ました。寒いと思ってたくさん着込んで行きましたがこっちと変わりませんでした！

茂木知子さん ~ネコは飼い主に似る~ (横山家の場合Part 1)

横山会員のメスの猫ちゃん、発情しました。その発情の激しさにオスの猫は脅えてしまったそうです。そこで、メス猫は避妊手術を受けさせられてしまいました。

山本芳弘君 反町公園参加の皆様、お疲れ様でした。西山先生、渡邊さん、脇田さんお疲れのところありがとうございます。

吉田隆男君 神奈川区民まつり、立派に開催され、皆様お疲れ様でした。

10月14日	22件	56,000円
本年度累計		691,228円

## 「介護保険10年史」

横浜市介護支援専門員連絡協議会代表 原田 保 様  
(紹介者 須永 久一 会員)



平成12年4月、わが国に介護保険制度がスタートしました。介護保険制度では介護が必要になった場合でも可能な限りその機能を活かし生活がしていけるような制度として産声を上げました。

介護保険制度は、行政がサービスの量や提供先を決定する「措置制度」から利用者による「サービスの自己選択・自己決定」に大きく変化しました。

「措置制度」はあてがいのサービス等と言われ「サービスの質が低い」「利用し難い」などの問題がありました。そのような問題点を解消する為に介護保険制度では介護度毎に月々利用できる上限額を設定し、その限度額の中で自由にサービス内容や提供事業者を選択しプランを作成する、まさに「自己選択・自己決定」によるオーダーメイドの介護サービスプランを作成し利用できる制度です。そしてこの介護サービスプラン（ケアプラン）を作成するのがケアマネージャーです。

また、今後避けては通れない高齢化社会を支えて行く為に民間企業に参画を促し自由競争によるサービスの質の向上にも大きな期待がかけられました。

介護保険制度は3年毎に改正を行うこととされています。では、介護保険制度創設から今日までどのような経過を辿ってきたか見ていきましょう。

- ・第一期（平成12年4月から平成15年3月）  
制度の周知、定着の時期。介護認定の数も順調に右肩上がりとなり、世間に介護保険制度は十分に周知された。
- ・第二期（平成15年4月から平成18年3月）  
質の確保とサービス提供側の淘汰の時期。サービス事業所も急増。給付費の増大とサービス供給過多の中、地域差も広がった？
- ・第三期（平成18年4月から平成21年3月）  
予防重視型に大きく方向変換。利用者にとってはサービス抑制や「自己選択」の理念を覆すようなケースも出始める。

- ・第四期（平成21年4月から平成24年3月）  
制度の持続性。増え続ける給付費をどのように捻出するか？今後、介護保険制度は何処へ向かうのか？
- ・第五期（平成24年4月から）  
次年度は医療保険、介護保険のダブル改定。「医療と介護の一体化」を図り在宅重介護者をどう支援していくか？

## 「私の思う」介護保険での課題

## 1. 訪問介護における課題（在宅“生活”の支援）

介護保険制度の柱である「訪問介護」サービスはまさに在宅“生活”を支援するサービスです。お風呂の介助やおむつ交換といった身体に直接触れて行う「身体介護」と家事を行うことが困難な方に代わって、掃除や洗濯、調理や買い物と言った家事を代行する「生活援助」に大分されます。

しかし、在宅での暮らし、“生活”は曜日や時間で機械的にはいきません。また、個人の生活歴を汲んだ価値観や生活習慣は千差万別、十人十色です。その“生活”を果たして「社会保障」と言う枠組みで支えていくことは本当に可能だろうか？

介護保険制度以前にも社会福祉はあった。社会福祉の理念を社会保障の定義で解釈することに無理が生じるのではないのでしょうか。

## 2. 在宅医療の課題（在宅医療の限界）

近年病院での長期療養的な入院が制度的に困難にきていることは新聞やテレビのニュースなどでも承知の通りです。確かに療養入院の患者さんには特別な医療行為は無い場合もあるかも知れません。ならば、住み慣れた家で、家族と共に暮らした方が良いでしょう。介護保険制度もそういった方の為にあるのだから。

しかし、在宅生活では本当に些細なことが生活基盤を大きく崩すことがあります。病院や施設はマンパワーも設備も在宅とは桁違いに充実しています。ハード面でもソフト面でも多少のトラブルは幾らでも対処出来ますが在宅ではそうはいきません。こと、在宅酸素、バルーンカテーテル、胃ろう、インシュリンなど医療的管理が必要な方にとっては常時医療者がいない在宅介護は想像以上に不安が大きく、紙一重の生活を送っています。

病院ではたいしたこと無い処置が在宅で、素人同然の高齢者が行う場合も少なくありません。先に述べたように在宅の限界点は本当に浅く危険とは背中合わせなのです。

次年度からは24時間訪問介護と看護を一体的に提供するサービスが始まります。このサービスの創設によって一人でも多くの方が社会的入院から自宅に戻るよう期待しています。

介護保険制度は既に10年を終えました。制度自体は着実に成長を遂げていると思いますが、まだまだ生活を保障する制度とはかけ離れていると感じています。

例えば超高齢者を高齢者が支える世帯。不景気の波に飲まれ、介護費用や医療費の捻出に困窮する家庭。精神的な疲弊から虐待に走るケース。医療依存度が非常に高い方への対応。成人病や仕事上のストレスなどで中途障害となる40代50代の方。それを80歳、90歳の方を同じプログラムで社会参加させるケアサービスのあり方など。

先に挙げた制度の持続性等も加味し今後の方向をきちんと示し「介護が必要になった場合でも住み慣れた地域で安心して暮らしていける制度」の構築を切に願います。

## A. T. アリヤラトネ博士仏教伝道文化賞受賞

平成23年10月12日(木)、田町の仏教伝道センタービルにおいて、OWOP協会の鈴木会長を通して当クラブとの縁が深いスリランカのアリヤラトネ博士の仏教伝道文化賞の贈呈式が行われました。

式典には、神奈川東ロータリークラブからは石川正三会員が、その後の記念講演会と懇親会には加藤仁昭会長と矢野修二会員が合流参加し、アリ博士の名誉ある受賞をお祝いしました。



### 第45回仏教伝道文化賞授賞式

A. T. アリヤラトネ博士 受賞スピーチ

2011年10月12日

この度、第45回仏教伝道文化賞を受賞できることは、大変光栄であり、仏教伝道協会 沼田智秀会長、並びに役員の皆様に謹んで御礼申し上げます。

この場をお借りして、まず3月の震災、津波、原発事故に苦しめられた皆様にあらためて心からお見舞いを申し上げます。

あの震災で、この授賞式が延期されたわけですが、私たち、スリランカのサルボダヤ・シュラマダナ運動に携わる者全員は、良い時も悪い時も常に日本の皆様と共にあります。

仏の智慧の教えを世界中に広められている仏教伝道協会の多大な功績は広く知られております。このような団体よりこの素晴らしい賞を頂くことは、大変光栄なことです。

あらゆる贈り物の中でも、最大の贈り物は、最高の真実であるダンマ（仏法）です。

この栄えある賞を受賞した唯一人のスリランカ人が、1983年に受賞されたわが国初代大統領、故J. R. Jayewardene閣下だったことを知った時、私のような一般の仏教活動家がこのような栄えある賞に値するのかと戸惑いました。

しかし、国際社会の平和のために社会・経済・政治が関係するように、仏法も同じように関連性があるということを、スリランカで53年以上にわたって立証してきたサルボダヤ・シュラマダナ運動を代表して、この賞をお受けすることを大変うれしく思います。

私は、1969年のラモン・マグサイサイ賞から始めて、多くの国際的な賞を頂きました。日本からは1992年に庭野平和賞を頂いております。この二つの賞から、あるいは他の国際賞からの賞金を個人的に使ったことはなく、常に仏教の思想と実践を通じて人類の福祉に奉仕する機関の創設に活用させて頂きました。

今回の仏教伝道文化賞の賞金は、わが国のモラツワ、ラワタワッタにある古代からの寺院に仏法伝道堂とパゴダを建設するために寄付させて頂きます。この功德により、もはやこの世にはおられない母、父、その他の親族、教師、友人たちが利益を受けられるように祈念致します。そして、仏教伝道会の会長、及び関係の方々、ここにお集まりの皆様、3月の震災で苦しまれた方々、すべての人々にもその利益と涅槃の最高の幸せがあたえられますように。

## 新会員インタビュー

今年6月に新会員2名が入会されました。白井康夫会員については先月の第9号週報で紹介致しました。今回は大橋秀行会員を紹介させていただきます。

また、大橋会員から2011年2月18日に「ボクシング道」と題して卓話をして頂いていますので再度そちらもご参考下さい。

先ず思い出の写真を拝見し、話を伺いました。



### -----この写真の思い出は何ですか？-----

「初めて世界チャンピオン(\*)になった時から2カ月後の写真で、初防衛戦に向けて長崎キャンプで山道トレーニングをしていた頃のもので。この時の体重は今より30kg少なかったですよ(笑)。」

(\*)1990年2月7日にWBC世界ストロー(現・ミニマム)級の世界王者になる。

### -----入会のいきさつは何ですか？-----

「20年前、この写真の頃ですが、世界チャンピオンになってからロックバンドのハウンド・ドックのメンバー西山さんと知り合いました。その後お兄さんの西山潔会員を紹介され顔見知りとなりました。また、母校である保土ヶ谷中学校時代の同級生に住職がおり、その住職と友人関係だった山本芳弘会員とは17年来の飲み友達だったこともあり、お二人に1年前から何回も誘われ、ついに入会することになりました。」

-----ロータリークラブの入会前の印象と入会後に感じたこと、そして何か期待することなどありますか?-----

「自分が体育会系であることから尚更でしょうか、ロータリークラブというものは先輩・後輩の様に上下関係が大変厳しく思え、お固いガチガチなイメージでした。しかし、それが入会してみると意外にソフトな感じで好感の持てるクラブでした。

ロータリークラブに入会しているボクシング関係者を知っていることもあり・・・ヨネクラジム米倉会長は池袋のクラブに、ピストン堀口の堀口会長も茅ヶ崎のクラブに入っていることなど、ロータリークラブのことは話には聞いていました。

例会には100%出席したいのですが平成25年3月までの任期3年間は協会の代表ですので、世界戦や各会合などに出ることがあり大変難しい問題なのです。代表として海外に行く機会があるので、その国でのメーキャップをすることを楽しみにしていますよ。」

-----趣味について聞かせて下さい。-----

「趣味についてですか・・・特にないですね。ボクシングが小さい時から大好きで、趣味がそのまま仕事になってしまったようなものです。自分でも幸せだなと思います。

そう、今ジムにはチャンピオンベルトが世界1本、東洋3本、日本6本の合計10本あります。その数を増やすことが趣味でもありますかね・・・。」

(10月24日に八重樫東が世界挑戦するポスターを見て・・・)

「テレビ東京のゴールデンタイムで生放送されます。世界チャンピオンになった者が経営するジムから世界チャンピオンを出したジムは今のところ3つしかなく、当ジムから川嶋勝重に続く2人目のチャンピオンが出ることを願っています。応援よろしく願います。」

-----ありがとうございました。-----

余談ですが、大橋ボクシングジムへ通うと1ヶ月で10キロ減量できるそうです。1日1時間の中身の濃い内容となりますが週3日通えばよいそうです。サンドバックやミットにパンチを打ち込む、ストレス解消には最高とのこと。あなたも如何でしょうか?

大橋会員は大橋ボクシングジムを経営していますが、日本プロボクシング協会・東日本ボクシング協会の会長をやっていることから大変忙しい方です。ロータリークラブの将来に向け多方面での活躍を期待します。

《クラブ会報委員会》

## ロータリーニュース

ポリオ元患者が地域のヒーローに

国際ロータリー・ニュース

第5510地区ポリオ・プラス小委員会委員長で、サン・レイクス・ロータリー・クラブ(米国アリゾナ州)会員のハロルド・ウォー

ショルツさんは、24歳の時にポリオに感染しました。

当時、ほとんど体を動かすことが出来なかったウォーショルツさんですが、現在は車椅子を利用しながら、アリゾナ州フェニックスの小学生にポリオについて教え、撲滅への支援活動を行っています。

チャンドラー公立学校区と協力し、2010-11年度、同校区43校の一斉募金活動としてポリオ・プラスを取り上げたウォーショルツさんは、教師や生徒会にプログラムを説明し、最終的に400人の生徒がポリオ・プラス募金箱で募金活動を行いました。生徒たちはまた、授業で、ポリオ撲滅の大切さについての発表も行いました。

こうした一連の活動で、ロータリーの2億ドルのチャレンジ(ポリオ・プラス)に向け、23,000ドルが集まりました。

ある学校の5年生と6年生のクラスは、課外活動として募金活動に取り組みました。ウォーショルツさんは子どもたちに、「ポリオの驚くべきストーリー」(ポリオの歴史を紹介した漫画本)と「ザ・ロータリアン」誌2010年9月号(ポリオについて紹介した記事を含む)を100冊ずつ寄贈し、子どもたちの活動を手伝いました。

「これらの雑誌を読んでポリオについて学んだ子どもたちは、別の学年の子どもたちにポリオについて教え、毎年恒例の学校のピクニックで、ポリオ撲滅への募金活動をして、1,800ドルを集めてくれました。みんな、ロータリーがポリオ撲滅活動に果たす大きな役割をよく認識しています」とウォーショルツさんは話します。

### ポリオについて伝える

2008年から2010年にかけて、ウォーショルツさんは、講演を依頼された学校で教師や生徒たちにポリオ・プラスについて説明し、18,000ドルを集めました。さらに、地区内の20クラブでも講演し、募金箱、ポスター、その他の資料入手を手伝いました。

自身の所属クラブでは、募金ディナーや例会での寄付集めを行っただけでなく、ポリオ撲滅活動への支援を奨励するため、ポール・ハリス・フェローの認証も利用してきました。

昨年、NBCテレビのフェニックス支局(チャンネル12)が、ウォーショルツさんを地元のヒーローとして取り上げ、ポリオのない世界を実現しようと熱心に活動する姿を紹介しました。

「ポストポリオ症候群は、私や家族にとって現実の問題です。この10年間で、体全体の衰弱を感じ、移動するのに、以前は杖だけで体を支えられたのに、今は車椅子を使わなければならなくなりました」と話すウォーショルツさん。昨年、チタン製の人工関節を両肩に入れただけでなく、左脚を切断する手術も受けています。

ウォーショルツさんにとって、ポリオ撲滅は必ず達成されなければならないことです。米国の子どもたちは制度の下で誰でもポリオの予防接種を受けていますが、それが必ずしも世界中のすべての国に共通することではありません。

「世界中の子どもたち全員に予防接種をしない限り、ポリオは広がり続けるでしょう」

## 職業奉仕：小口融資で女性に仕事の機会を

クラブの職業奉仕活動がマンネリ化しているとお考えではありませんか。しばしば「忘れられた奉仕部門」と呼ばれる職業奉仕は、理解や実践が難しいと考えられており、実は、多くのクラブが同じ悩みを抱えています。

第2450地区（アフリカの一部、地中海諸島、中東、グルジア）のバスト・ガバナー、ニジャド K. アル・アタッシさんは、職業奉仕の重要性を唱え、地区全体の最優先事項として掲げています。「価値観や倫理の大切さを教える職業奉仕は、とても重要」とアタッシさんは話します。

### 小口融資（マイクロローン）

「職業奉仕を地区の最優先事項とする」というアタッシさんの呼びかけに、アレキサンドリア・スポーティング・ロータリー・クラブが応えました。このクラブは、小口融資（マイクロローン）、識字率向上のための読み書き教室、裁縫クラスなど、低所得の人々、特に職のない女性を対象に、活動を始めました。

「家族を養っている女性たちに小額を融資することにしました」と話すのは、クラブ会長のヘバ・カベルさんです。屋台や清掃のビジネスの立ち上げ資金として、約85米ドルを20人に融資しました。

この融資は、1年間かけて分割で返済され、返済された資金を次に人に融資するという仕組みです。つまり、約1,700ドルの初期投資で、この小口融資プログラムを長期的に持続していくことが出来ます。クラブはまた、75人の女性を対象とした読み書き教室や、45人の女性のための裁縫クラスなどにも資金を提供しています。

こうした活動で、地域の女性たちが仕事に就けるチャンスが高まると、カベルさんは話します。

「年末には大きなバザーを開いて、女性たちが縫った作品を販売しました」とカベルさん。収益は女性たちに支払われました。

自らが銀行家でもあるカベルさんは、こうした職業奉仕活動で出会った女性たちに、金融の知識を教えるボランティア活動もしています。彼女からのアドバイスで、女性たちは新たに手にした収入を

預金する方法や、ビジネスを維持していく方法を学ぶことが出来ます。

### 職業奉仕プロジェクトの例

10月は職業奉仕部門に光を当てて活動するよう奨励されています。国際ロータリーは、今年の職業奉仕月間に向け、優れた職業奉仕活動を提出するよう2010-11年度地区ガバナーに呼びかけてきました。ガバナーから寄せられたプロジェクトの中から、以下にいくつかご紹介いたします。

- ・米国ミズーリ州のマウント・バーノン・ロータリー・クラブは、失業中の地域住民を対象に職業スキル向上のワークショップを開きました。ワークショップでは、面接の仕方や求人情報を探す方法などについて指導が行われたほか、各参加者が自分の履歴書を作り、応募する企業のリストを作成しました。
- ・バングラデシュのジャララバード・ロータリー・クラブの会員たちは、地元のリハビリセンターを通じて、足の不自由な人20名に義肢を提供し、地元住民たちと協力して、これらの人々の就職を支援しました。
- ・英国のチェルトナム・サンライズ・ロータリー・クラブは、環境保護にかかわる職業に関する2日間の教育フォーラムを開き、280人の中学生と教師を招待しました。地元自治体の役員、非政府団体や企業の代表者も出席し、環境にやさしい技術でビジネスを改善する方法などについて、学生たちに説明しました。

国際ロータリー・ニュース

### 次回《10月28日》の卓話予定

#### イニシエーションスピーチ

卓話者 白井 康夫 会員

## 例会 4 回

## 9 月度出席報告

名譽会員			出席率算除外会員			出席規定免除会員					
会 員	メイクアップ後	ホームクラブ	会 員	メイクアップ後	ホームクラブ	会 員	メイクアップ後	ホームクラブ	会 員	メイクアップ後	ホームクラブ
青柳 紀	25	25	金森 欣一	100	100	友添 辰哉	100	100	吉田 隆男	75	75
赤堀 和人	125	75	川邊 正男	125	100	長井 章	125	100	吉橋佐千男	0	0
朝日 達夫	100	75	小池 将夫	100	100	中村 真巳	0	0	我妻 隆邦	75	75
天野 公史	150	100	河野 明光	125	75	西山 潔	100	50	脇田いすゞ	100	100
雨宮 和則	75	25	小山 市康	100	100	藤橋恒一郎	125	100	渡邊 淳	100	100
飯田 泰之	125	100	佐藤 勝彦	100	75	布施 是清	125	100	富居 利貞	0	0
伊澤 政宏	125	100	澁谷 高弘	50	25	茂木 知子	100	75			
石川 正三	75	50	白井 康夫	125	100	森永 健	125	100			
伊東 英紀	125	100	白鳥 厚夫	150	100	矢野 修二	100	50			
岩澤 利雄	100	100	須永 久一	125	75	山木 幹夫	50	25			
植田 清司	125	100	高田 修	125	75	山崎 善也	75	50			
梅崎 興生	75	75	田口健太郎	100	100	山田 富雄	125	100			
江森 国一	125	100	竹山 洋	100	75	山田 正憲	150	100			
鴻 義久	75	75	田中龍太郎	100	75	山本 登	125	50			
大西 弘文	100	100	田邊 正彦	75	50	山本 芳弘	100	50			
大橋 秀行	50	50	月山 勇	125	100	横溝 亘	100	75			
加藤 仁昭	150	100	角田 伯雄	75	50	横山 範夫	125	100			

月平均 96.04%